

ヘルペスウイルスについて(その2)

こんにちは。花沢アイクリニック院長の梅津由子です。
前回からヘルペスウイルスについてお話していますが、今回は
「^{かくまく}角膜ヘルペス」についてです。

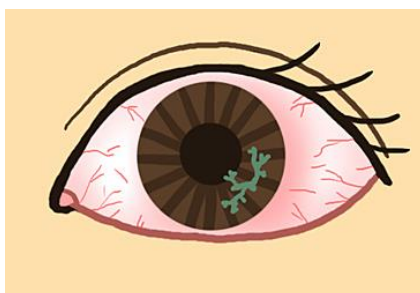
角膜ヘルペスとは、単純ヘルペスウイルスが眼の角膜に悪さをする病気です。単純ヘルペスウイルスは、ほとんどの方が子供の頃に感染したことがあるウイルスで、初めて感染した時はあまり症状が出ません。稀に症状が出る場合でも、のどが腫れる程度で治ってしまいます。しかし症状が治ってもウイルスが死滅したわけではなく、^{さんさしんけい}三叉神経という顔の神経に潜伏します。そしてこのウイルスは、私たちの免疫力が弱まるのを神経に潜みながら何十年も待ち続け、免疫力が弱まったタイミングで暴れだします。年を取ると、免疫力は自然と落ちていきます。また、激務などで十分な休息がとれていないという人や、ストレスのたまっている人、風邪をひいている人も角膜ヘルペスを発症しやすくなります。季節の変わり目なども体調を崩しやすいため注意が必要です。



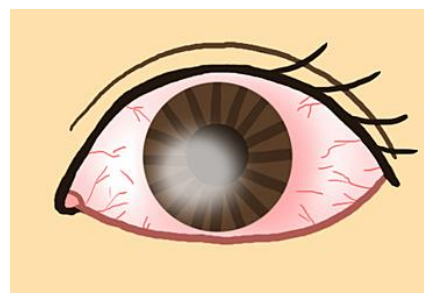
角膜は外側を覆う上皮、その下にある実質、さらにその下の内皮と、3層構造になっています。角膜ヘルペスは、ウイルスの暴れる深さによって^{じょうひがた}上皮型と^{じっしつがた}実質型に分けられます。

上皮型では角膜の一番外側である上皮に単純ヘルペスウイルスが感染し、^{かいよう}潰瘍を作っていきます。このウイルスの作る潰瘍は木の枝の様に広がるのが特徴的で、^{じゅしじょうかくまくえん}樹枝状角膜炎とも呼ばれます。

実質型では角膜の実質に炎症が起き、黒目が白く濁ります。黒目がまるく腫れて濁ることから^{えんばんじょう}円板状角膜炎とも呼ばれます。ウイルスが直接潰瘍を作る上皮型と違って、実質型は、ウイルスを感知した身体の中の免疫が暴走してしまい、自分の体の一部であるはずの角膜実質を攻撃することで引き起こされます。



上皮型



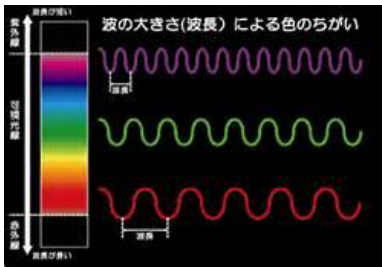
実質型

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、
目の健康に関する情報や、
耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



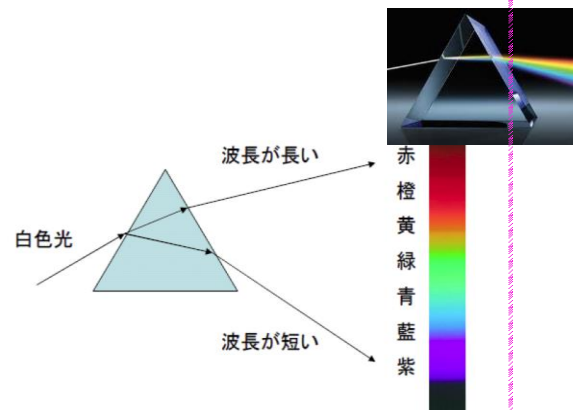
色のしくみ～光は何でできている？～



光には波長と言われる目に見えない空間を伝わる波があります。その波長には長いものから短いものまであり、色の違いによって異なります。赤い光は長い波長です。橙の光の波長は赤い光の波長より少しだけ短く、黄・緑・青・藍と少しずつ短い波長となります。一番短いものが、紫の光の波長です。

そして、光には、違う物質に当たるとその境目で光の進む方向が変わるという性質があります。また、波長の違いで光の曲がる角度が変わります。波長の長い赤い光は少しだけ曲がり、波長の短い紫の光は大きく曲がります。

右図のように、左側から入った一筋の白色光は、七色すべての色が混ざった光です。それが、違う物質であるレンズに当たり、光の波長の違いで曲がる角度が変わり光の帯ができるのです。



雨上がりの空に、この光の帯が見えるのが『虹』です。七色すべての色が混ざった太陽の光は、レンズの代わりとなる空気中の水のつぶに当たり、波長の違いで曲がる角度が変わり、七色の虹となって見えるのです。



ティーブレイクでホッと一息♪

今月は「ローズヒップティー」をご紹介します。ローズヒップは、ビタミンCが豊富で、紫外線の影響を抑え、コラーゲンの生成と保持を助けてくれます。肌の生まれ変わりによって、毛穴が小さくなる、黒ずみが目立たなくなるなど、女性に嬉しい効能があります。よくブレンドされるハイビスカスには、クエン酸とビタミンCが豊富に含まれており、眼性疲労、肉体疲労、むくみの改善、美肌づくりに働きかけてくれます。ローズヒップとハイビスカスを合わせることで、互いの栄養成分を高めあい、一層の相乗効

さくらんぼ食べたい！
目玉いきいきライフ！



編集後記

大好評！まつ毛のお薬「グラッシュビスタ」は、1日1回上まつ毛に塗るだけで、自分のまつ毛が豊かになり印象的な目元に♪特別価格で限定販売中です！まつ毛のことでお悩みの方、ぜひお声がけください！

ビビ・プッチ・まめちよ